

国際ミッション・ボランティア 佐々木和之さん 帰国報告会

『ルワンダで和解と平和の働きに仕える』

あなた方の中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。 — フィリピの信徒への手紙 1章6節

佐々木和之さんが国際ミッション・ボランティアとして働きを始めて今年で14年目になりました。この間ルワンダで24年前に起こった虐殺の被害者と加害者やその家族・共同体が、報復ではなく「和解」と「癒し」に向かえるよう「和解と癒し」のプロジェクトを始め、共に生きていくための協働をルワンダの方々と作ってきました。また、プロテスタント人文・社会科学大学(ピアス)で平和学を教えつつ、和解のプロセスを続けていく次世代のリーダーの育成にも力を注ぎました。佐々木さんが学科長を務める平和紛争研究学科では、ルワンダの学生だけでなく、緊張関係にある周辺国、そして日本からも留学生を受け入れ、平和的紛争解決を共に学び、卒業後もそれぞれの地域に戻って実践していくことを期待しながら教育育成にあたっています。今年日本ヘルワンダからの留学生を送ることが実現しました。

日本も国内・隣国との緊張の中におかれている今、どのように平和を求めつつ生き合うことができるのか、佐々木さんの報告から示唆をいただければと思います。

世界バプテスト祈禱週間を覚える11月を前に、報告会を通して佐々木さんの働きを知り、また連盟諸教会の協力伝道である国外伝道を覚えて祈りを合わせることであれば幸いです。どうぞご参加下さい。



平和のための演劇・特別講師クラウスさんと卒業生と一緒に。(一番左が佐々木さん)

佐々木 和之 (ささき かずゆき) さん 日本バプテスト連盟国際ミッション・ボランティア(IMV)。1965年横浜市生まれ。大学で熱帯農業について学んだ後、1988年から計8年半、飢餓が深刻なエチオピアで農村自立支援に従事。エチオピア在住の2000年にルワンダを訪問し、紛争の深い傷跡に衝撃を受ける。同年10月からブラッドフォード大学平和学部博士課程に在籍し、ルワンダの紛争問題と平和構築について研究。2005年IMVとして現地NGOや住民組織と協力し、大虐殺後の「癒しと和解」プロジェクトを展開。2011年からは、プロテスタント人文・社会科学大学PIASS(Protestant Institute of Arts and Social Sciences)の教員として、ルワンダ初の平和・紛争研究学科設立のために尽力。洋光台キリスト教会教会員

日時 2018年10月28日 [日] 16:00~18:00

場所 日本バプテスト大阪教会

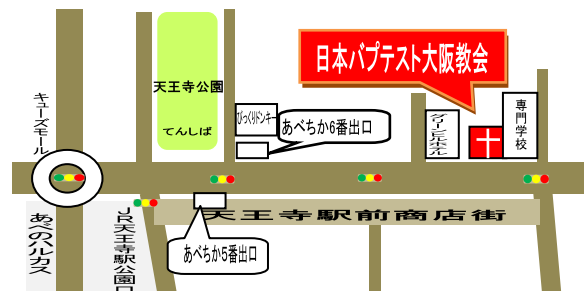
〒543-0063

大阪府大阪市天王寺区茶臼山町1-17

Tel : 06-6771-3865

※お問合せは連盟宣教部

048-883-1091 井形・丁野まで



(J R) 天王寺駅、公園口より徒歩5分。

(地下鉄) 御堂筋線、谷町線

あべちか6番出口から徒歩5分

*隣接有料駐車場有り。

■主催：日本バプテスト連盟宣教部

■協力：バプテスト連盟関西地方教会連合

■企画・協力：日本バプテスト大阪教会

■協力：日本バプテスト女性連合